

## 札幌市教育振興基本計画 (平成26年度～平成35年度)

### 目指す人間像

### 自立した札幌人

- 未来に向かって 創造的に考え、主体的に行動する人
- 心豊かで 自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人
- ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人

三つの「基本的方向性」

自ら学び、共に生きる力を培う **学びの推進**

多様な学びを支える **環境の充実**

市民ぐるみで支え合う **仕組みづくり**

### 札幌市教育アクションプラン(前期5年間)における重要項目

- |                   |                            |                      |
|-------------------|----------------------------|----------------------|
| ①分かる・できる・楽しい授業の推進 | ④進路探究学習の充実                 | ⑦「知の拠点」としての図書館の充実    |
| ②課題探究的な学習の推進      | ⑤命を大切にす指導の充実               | ⑧子どもが安心して学べる支援や対応の充実 |
| ③体力向上の推進          | ⑥札幌らしさを実感するとともに国際性を育む学びの充実 | ⑨地域に開かれた学校           |

## 札幌市学校教育の重点

### 知・徳・体の調和のとれた育ち

#### 学ぶ力の育成

「学ぶ意欲」「基礎的・基本的な知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」をバランスよく育て、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等を育みます。

#### 豊かな心の育成

互いに尊重し、支え合いながら共にによりよく生きようとする態度や、他人を思いやる心、生命を尊重する心、自然や美しいものに感動する心など、豊かな心を育みます。

#### 健やかな身体の育成

生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力等を育みます。

### 札幌らしい特色ある学校教育

- 北国札幌らしさを学ぶ 【雪】
- 未来の札幌を見つめる 【環境】
- 生涯にわたる学びの基盤 【読書】

「札幌らしい特色ある学校教育」は、全ての市立幼稚園・認定こども園・学校が共通に取り組むものです。  
この学習を通して、国際的な視野やふるさと札幌を大切にす心を育みます。



【環境】 ちっきゅん      【雪】 ゆっぼろ      【読書】 おっほん

### 学校教育の今日的課題

社会の変化を踏まえた、教育ニーズを反映した課題を取り上げて取り組みます。

- ・校種間連携 (幼小、小中、中高など、校種間の連携による連続性のある教育活動)
- ・特別支援教育 (一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援)
- ・人間尊重の教育 (民族教育、子どもの権利、男女平等教育など)
- ・国際理解教育 (異文化理解、外国語教育、平和に関する学習など)
- ・情報教育 (情報モラルを含めた情報活用能力の育成、ICT機器の活用など)

### 信頼される学校の創造

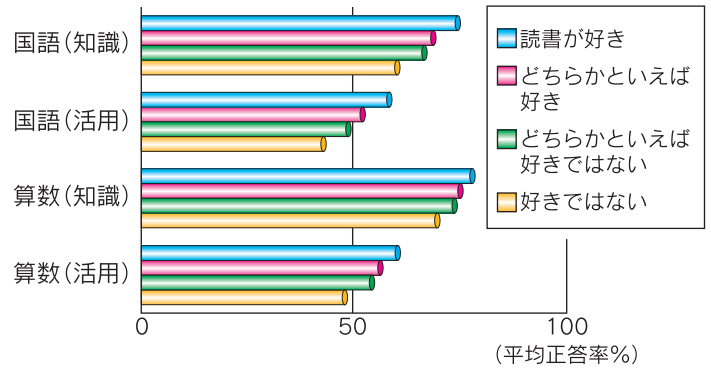
- 学校、家庭、地域の連携により、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりに努めます。
  - ・家庭や地域と連携した教育活動の実施
  - ・保護者や地域住民の意見を反映した学校評価による学校運営の工夫や改善
- 研修の充実等により、教員の指導力や資質の向上に努めます。
- 各学校・地域の実態に即した学校安全計画を作成し、安全教育や安全管理等に努めます。

# 学校・家庭・地域の連携による取組の推進

## 学ぶ力の育成

### ★家庭・地域にお願いしたいこと

- ・家庭において、子どもが読書する習慣づくりや学年に応じた家庭学習の習慣づくりを一層進めること
- ・学習支援ボランティアや、ゲストティーチャーなどで学校での教育活動に参画すること

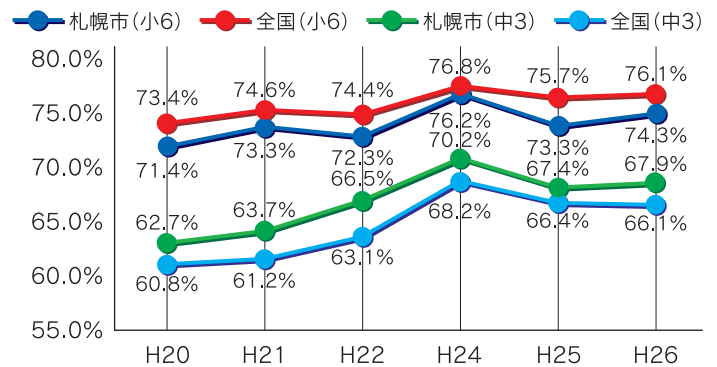


「読書が好き」な子どもと全国学力・学習状況調査の結果との相関(小6) (H26文部科学省調査)

## 豊かな心の育成

### ★家庭・地域にお願いしたいこと

- ・子どもの小さな変化への気付きを大切に、気付いたことは早めに学校へ相談すること
- ・子どもが使用する携帯電話やスマートフォンのフィルタリングなどの確実な対応や、それらの使い方について親子で話し合いをすること

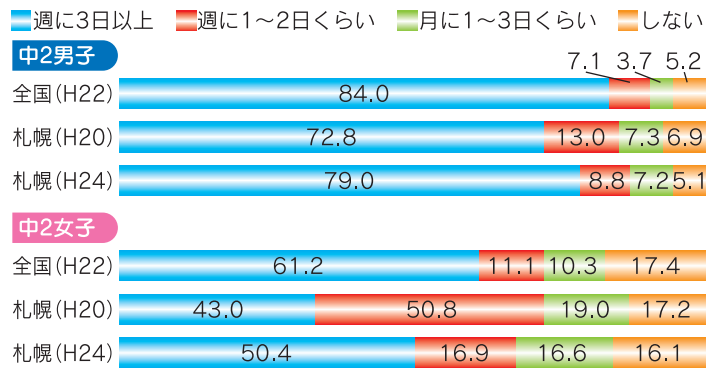


「自分にはよいところがある」と思う子どもの割合 (H26文部科学省調査)

## 健やかな身体の育成

### ★家庭・地域にお願いしたいこと

- ・子どもが楽しく運動に親しむ機会や、地域等における健康増進、体力向上に向けた取組を充実させること
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」など、子どもがよりよい生活習慣を身に付けるための支援を行うこと



「中学生の運動頻度」 (文部科学省、札幌市教育委員会調査)

## 保護者・市民の皆さまへ



屯田北中学校生徒会の皆さんと山中教育委員長

札幌市教育委員会では、今後の札幌市の教育の目標や方向性とこれらに基づく施策を総合的・体系的に進めていくため、昨年3月に「札幌市教育振興基本計画」を策定いたしました。本リーフレットも、この計画に基づいて作成しております。

この計画における基本的方向性の一つに「市民ぐるみで支え合う仕組みづくり」を掲げております。これは、保護者・市民の皆さまの参画を得て学校運営を進めるとともに、子どもが地域の活動に参加するなど、学校・家庭・地域の双方向の連携を意味するものです。

今後とも、この「札幌市の学校教育」を架け橋として、より一層、学校と家庭・地域との相互理解・連携が深まり、札幌の子どもたちを健やかに育てる取組を市民ぐるみで進めるよう努めてまいります。



さっぽろ市  
02-S02-15-45  
27-2-19

札幌市教育委員会 教育委員長 山中 善夫